

会報

No. 1 1

前林協

MAERINKYO

***** 編集・発行所 *****

〒371-0035

群馬県前橋市岩神町四丁目17番3号

前橋国有林森林整備協会

TEL:027(235)5150 FAX:027(235)5147

URL:<http://www.maerinkyo5150.com/>E-mail:maerin5150@yahoo.co.jp

◇ 記事の内容 ◇

- 前林協第16回通常総会報告
- 奥久慈林業協同組合の安全大会
- いしかわ林業協同組合・有限会社大須賀林業・白栄林業企業組合合同の安全衛生大会
- 磐城林業協同組合の安全大会
- 群馬技士会第1回現地研修会



第16回
協林前

通常総会報告

当協会は、平成27年度第16回通常総会を6月9日前橋市石倉町のホテルサンダーソンにおいて、福島・栃木・群馬・新潟各県の22会員から三十数名の出席のもと盛大に開催しました。

総会は、目黒専務理事が本総会を成立することを報告し、平子副会長が開会の辞を述べた後、高山会長が大会挨拶を行い、続いて関東森林管理局の志田局長、全国国有林造林生産業連絡協議会の岩田専務理事からご祝辞を頂戴しました。

続く議事では、磐城林業協同組合の生田目副理事長を議長に選出して議事に入りました。まず、第一号議案「平成26年度事業活動報告承認の件」、第二号議案「平成26年度収支決算報告承認の件」について事務局から説明提案があり、続いて監事を代表して水野武雄氏から監査報告がなされ、審議の結果、全会一致で可決承認されました。

次に、第三号議案「平成27年度事業活動計画決定の件」、第四号議案「平成27年度収支予算決定の件」、第五号議案「平成27年度会費及び徴収方法決定の件」、第六号議案「預入先決定の件」については予算等にも関係することから事務局から一括して提案説明を行い、全員意義無く事務局提案どおり可決承認されました。

た。

続いて、第七号議案「その他」については、事務局からも会員からも特段の提案はなく、生田目議長が「会員皆様方のご協力によりまして、議長の大役を無事終了することができましたことを感謝申し上げ、議長を退席させて頂きます。」宣言して降壇し、富沢副会長の閉会の辞で定期総会は滞りなく終了しました。

休憩を挟み、独立行政法人農林漁業信用基金からお越しいただいた、津元副理事長から地域の林業・木材産業の一体的な発展には、木材の安定供給が不可欠。

安定供給を目的として協定取引に着目した新しい保証商品「ウッド・サポート5000」などの紹介をして頂きました。

続いて、関東森林管理局の寺川森林整備部長からは、森林におけるシカ対策について、山内森林整備課長からは、苗木の安定的確保に向けた実績と見込みについて、内海資源活用課長からは、森林資源の循環利用による林業の成長産業化、渡邊企画官からは、平成26年度請負事業・立木販売における重大災害の発生状況等々について、林業を取り巻く最近の情勢や話題提供及びや安全指導が行われ、予定時刻どおり終了しました。



ご挨拶

前橋国有林森林整備協会

会長 高山 光 男



皆様大変お忙しいところ本日第16回の通常総会に全員の出席を頂き誠に有り難うございます。

今日、森林・林業は林業の成長産業化の取組の中で、地域

雇用、木材利用の促進、地球温暖化防止によるCO2の削減など国民の皆様からの関心が高まっていることは現実となっております。私たちは地域林業の担い手として、林業界の飛躍の主役を担っておりますので、皆様方には、なお一層のご活躍を期待しているところでございます。

また、昨年の災害を見ましても類似の災害が多く発生しておりますので、災害防止に向けての安全指導をもう一度お願い致します。

結びになりますが、本総会の議事が円滑に進行できますようご協力をお願い申し上げますとともに引き続き会員の皆様のご健勝を祈念し、開会に当たつての挨拶と致します。

祝
辞

関東森林管理局

局長 志田 孝一



皆様こんにちは。只今ご紹介に預かりました関東森林管理局局長の志田でございます。本日はこのように会員各位ご出席のもと盛大に前橋国有林森林整備協会の総会が開催されますこと心よりお慶び申し上げます。

また、会員の事業体の皆様におかれましては、日頃より国有林野におきます造林事業・素材生産といった各種事業の実施を担っていただいているところです。この場をお借りして改めてお礼申し上げます。

現在、政府におきましては地方創生ということで大変大きな政策課題となっておりますが特に、農山村における地方創生となりますと林業の成長産業化というものが不可欠の課題ではないのかなと思っております。幸い森林資源の面では戦後永々として先人達が努力を積み上げて来られた結果、十分な資源量を確保するに至っております。一つ数字を申し上げますと、現在、日本の木材消費量は年間7千万立方メートルと言われておりますが、これに対して森林の蓄積量の成長量は年間概ね1億立方メートルで消費量を上回る資源の増加がなされている状況にあります。一方で木材の利用に目を向けると、近年の木材加工技術というものが非常に高度化をしております。また、ここ数年来木質バイオマス発電で、

木くずなどを燃料として発電できる状況に変わってきております。また、CLTは高層住宅にも活用できるということで大変期待をされておりますが、これについても実用化に向けた手続が着々と進んでおります。これまでは、CLTを使って建物を建てる場合には、国土交通大臣の個別の認可が必要であった訳であります。来年度には、遂にこのCLTに関する建築基準も整備されまして、一般的に利用できるように変わってきているところです。

こうした木材利用の利用側の変化によって、従来は山の中に放置するしかなかった細い木、曲がった木などが搬出されれば、十分有効に利用される時代が来たと言えると思えます。つまり、良い木だけでなく木材をトータルとして使える時代が来たと言ふことだと思えます。従いまして、これまで以上に民有林と連携を強めながら積極的に伐採・搬出を行いながら、また、将来にわたつての森林資源を維持するためしつかりと再造林をしていくということが大変重要であると思っております。そうしたうえで、国有林野事業の正に実践部隊を担って頂いている皆様方の益々のご活躍を心から期待をする訳でございます。また、その際には、労働安全に再度目配りをお願いしたいと思います。

実は私は法律分野が得意で役人になったところでございます。日本の法律は何を守ろうとしているのか。一番に人の生命、二番目が人の身体、三番目によくやく財産、

こう言う順番に守っていくと言うことで人の生命・身体というものは何よりも大切であります。経済的繁栄を支える上でも人の生命・身体の安全を確保されてこそだということです。再度ここでお願いをさせて頂きたいと思えます。最後になりましたけれども前橋国有林森林整備協会それから会員の皆様方の益々のご繁栄と本日のご列席の皆様方のご健勝を祈念し、簡単ではありますがお祝いの挨拶とさせて頂きます。

本日はどうもおめでとうございます。

全国国有林造林生産業連絡協議会

専務理事 岩田茂樹



皆様こんにちは。ご紹介を頂きました全国造林生産業連絡協議会の専務理事を務めさせて頂いている岩田でございます。

皆様方あつての全国造林生産業連絡協議会でございます。おもつておりますので、どうかよろしくお願ひ致します。

最初にホームページで皆様方に大変ご迷惑をお掛けしたことでお詫び申し上げます。私ども内部的にコスト削減等もあつて、メールアドレスの変更があり、その為、従来の検索では見られなくなつ

てご不便をお掛けしましたが、今後はそのようなことが起きないように十分気を付けていきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

来賓のご挨拶ということですので、中央の情勢などについてお話をさせていただきたいと思っております。5月は各団体の総会がございまして、私どもも出席させて頂き林野庁長官からご挨拶をいただく中で、今、どんな状況下にあるかを申し上げたいと思っております。

先程、関東森林管理局長さんからお話がありましたとおり、我が国の森林資源は人工林を中心に本格的に利用期を迎えている。この充実した森林資源を最大限に活用し、循環型社会を創って行き、その担い手として林業が成長産業として発展していく、そのことを通じて林業で雇用を増やし、山村地域における地方創生を実現しようというところで林野庁を中心に今、目指している状況にあります。その方法は二つありまして、一つは、木材需要を最大限に増やして行こうということですが、バイオマス発電のおかげでC材が少し高くなり、引き合いが出てきていることで大変有り難いことです。そのほか、CLTで中高層のビルを木造で建築すると言うことでありますが問題は、A材の需要がなかなか無いことです。いづれも需要を増やすことで資源を活用しようということですが、もう一つは、その需要に応えられるように木材の供給が効率良く生産出来る体制を創っていくということですが、その主役は正に皆様方になる訳でございます。

いますので、そういった全体の流れの中で国有林もしっかりと生産量を増やすことです。森林・林業再生プランの後半期に入りますが、国有林の伐採量は非常にこれから増えて行く、何が増えるのかといいますと立木販売が増えます。生産の経費は一般会計の中で予算が頭打ちでございますので、そんなに増える見込みはありません。そんな状況の中で収穫量を増やすとすれば立木販売となります。それも間伐についてはもう温暖化対策で一定のレベルを維持していくというものであつて主伐つまり皆伐再造林を行っていくというものであります。その際、造林費が潤沢にあるものではないことから如何に低コストで造林をするかということが非常に重要なテーマになっております。本日、配布されました林野庁業務課配布資料の中に国有林が今、目指している新しい取組がいくつか入っております。こういうものをどんどん行っていくということですが、私も全造生協としても、国有林のニーズにしっかりと答えられる体制づくりして行こうと努めて参りますので、是非とも皆様方のご理解とご協力をお願い致します。

5月21日に私どもの総会があり、林野庁業務課長が来られましていろいろと御指導頂いたわけですが、特に、シカ対策について協力要請がありました。業務課長曰く、森林管理局・管理署等でワナを無償で貸し出すので、事業地を行き来している皆様にワナを使ってシカを駆除する試みをして頂きたいと思っております。ただ、どこでも捕れるというものでもありませんので、シカの通り道を見極めて確立の高い箇所に設置する訳でありますので、皆様方の従業員の方々、心得のある方とか或いは猟友会の皆様方に指導を頂きながら今の試み段階でワナ猟のレベルアップをしていくことが必要であると考えています。

ご留意いただきたいのは、シカの駆除する予算は造林などを行う森林整備予算と同じであり、額は今後段々増えて行くことになると思っております。今後はそちらの方の仕事をしなければ仕事の量は減ることになり兼ねませんので、しっかりと国有林の動きに合わせて仕事をできる体制づくりをしていくことが私どもの役割であろうと思っておりますのでどうかよろしくお申し込み申し上げます。

色々と申し上げましたが、国有林の動きなどの情報をしっかりと捉え、高山会長を先頭にして頑張っていけますのでどうかよろしくお願いを致します。

結びになりますが、本日までご参会の皆様方のご健勝と事業のご隆盛並びに労働災害の未然防止に努めて頂きますようお願い申し上げます。

本日は誠にありがとうございます。



ゼロ災で行こう ヨシ!

6月25日 棚倉町



七月一日から始まる全国安全週間を前に奥久慈林業協同組合(菊地正人理事長)の平成二十七年安全大会が六月二十五日棚倉町の「新富家」で午前10時から林業関係者ら約百十名が参加し奥久慈流域林業活性化センター協賛のもと盛大に開催された。

菊地正人理事長が就任あいさつとともに、「平成17年より9年間無災害を継続して参りましたが、昨年6月下旬刈作業中、転倒による災害が発生した。本大会を契機に今一度、安全意識の高揚を図り、安全衛生部会を先頭に組合員一丸となって、新たな無事故・無災害の歴史を刻んで行きたい。」と決意を述べた。

来賓として出席した、坂井棚倉森林管理署長、加藤県南農林事務所森林林業部長、長田奥久慈流域林業活性化センター理事長が祝辞を贈った。

山浦棚倉森林管理署総括森林整備官が具体的な災害事例を説明しながら労働安全の確保などについて安全指導を行った。続いて、有限会社本郷林業と有限会社ウツド福生から我が社の安全活動の取組が紹

介され、安全衛生部の田部委員が安全実施計画について説明を行い午前の部が終了した。

午後から前橋国有林森林整備協会の目黒専務理事が林業を取り巻く最近の情勢と災害発生時の現場対応について講話を行った。

安全標語入選作の審査経過については、安全衛生部会の草野副部長から今年度の安全標語の応募には、97点の応募があり、厳正な審査の結果、12点が入選作として発表され、入選者それぞれに菊地理事長から記念品が贈呈された。

安全衛生部会の陣野委員、増子委員、佐藤委員、鈴木委員から局長メッセージの伝達、安全スローガンの確認、安全の誓

いが行われ、最後に安全衛生部の益子部長が音頭を取り、労働災害防止・安全作業の誓い並びにゼロ災コールを行い安全意識を高め閉会となった。



7月1日 石川町



全国安全週間となった七月一日、いしかわ林業協同組合(理事長 水野武雄)、有限会社大須賀(代表取締役 大須賀浅吉)、白栄林業企業組合(理事長 満山君男)では、毎年恒例となつている三社合同の安全衛生大会を母畑温泉「八幡屋」において、関係者五十数余名が出席して無災害に努め、笑顔で輝く、明るい職場にすることを誓い合った。

水野理事長は「私たちはいつも危険度の高い作業をしているが、三社とも昨年は無事故・無災害で事業を行って頂いた。これは、一人ひとりの安全意識の高さと自覚の賜であると思います。良い事業体とは、日頃から労働災害の防止に積極的に取り組む事業体であることだと思いますので、今後ともよろしくお願い致します。」とあいさつを行った。

続いて、各社の優良従業員表彰が行われ、有限会社水野林興から鈴木尚晃氏、有限会社鈴木商事から矢吹盛栄氏、有限会社大須賀林業から大須賀学氏、白栄林業企業組合から高久勝春氏が表彰された。

来賓として、川村福島森林管理署白河支署長、目黒前橋国有林森林整備協会専務理事、阿部須賀川労働基準監督署長が安全衛生講話を行った。



今年度安全標語には46点の応募があり、休憩の合間に出席者全員による投票が行われ、金賞には、白栄林業企業組合の鈴木茂市氏の作品、「焦る気持ちに一呼吸 慣れた作業も油断せず」

銀賞には、水野林興の水野悦男氏の作品「足元に潜む危険 周囲ヨシ 焦らず確認 安全作業」

銅賞には、大須賀林業の熊田孝二氏の「ヒヤリで済んだあの教訓 今日も活かそう 危険予知」

その後、DVDによる「刈払機の安全作業」を全員で鑑賞し、最後に安全の誓いの言葉を宣言し、安全衛生大会が無事終了した。



記念品が贈呈された。

7月7日 いわき市



全国安全週間最終日となった七月七日、磐城林業協同組合(平子作磨理事長)の平成二十七年安全大会がいわき市常磐藤原のスパリゾートハワイアンズコンベンションホールにおいて、傘下組合員十七

社の全従業員と林業関係者ら約二百人が出席して「危険見つけてみんな改善 意識高めて安全職場」の全国安全週間スローガンの下、盛大に開催された。

平子理事長は労働災害を防止するためには、「全員が現場を確認し、基本的なルールを守ることに加え、一人ひとりが安全に対する意識や危険感受性を高め、自分の身は自分で守ることが必要であると思うので、今後ともよろしく願います。」と述べた。

来賓として、中澤磐城森林管理署長、青砥いわき農林水産事務所森林林業部長が来賓を代表して祝辞を贈り、空閑いわき労働基準監督署安全衛生課長が「林業の安全」と題して、林業における死亡災害や休業災害の概要、林業における重点対策等について講演を行った。

続いて、大館伐出安全委員長、生田目造林安全委員長から基本的事項を守って今年度「危険ゼロ」を目標に作業しようと、各事業実行に当たつての留意事項等々が説

明された。

いわき中央警察署常磐分庁舎の風越巡查部長からいわき中央警察署管内における交通事故発生状況として、人身事故の特徴として一番多いのは追突事故で過半数を占め、次に出会い頭の事故、右左折の事故の順となつている。時間帯は交通量の多い通勤時間帯であり、7時〜8時、17時〜19時台である。死亡事故では、高齢者による事故が多く発生し、加齢による運動機能の低下が原因ではないかと考えている。

重大事故を起こさない為には、①運転中、眠気や疲れを感じたら無理せず直ぐに休憩を取ること ②時間に余裕を持った運転をすること を守って頂きたいと交通安全講話があつた。

最後出席者を代表して、緑の研修生として活躍している有限会社丸信林業の庄司さんが労働災害防止・安全作業の誓いを読み上げて安全大会が閉会となつた。



認定CPD分野 森林業技士会研修会

群馬県林業技士会（会長＝松雅巳）は6月21日、森林分野CPD認定を受けた第1回目の現地研修会を開催した。

午前中は、榛東村において、県苗組の清水敏夫前事務局長から「コンテナ苗を導入した経緯や県内のコンテナ苗木生産施設の規模等について」説明を受けた後、榛東村で小花粉スギやヒノキなど18万本を育てる岩田好雄氏の育苗施設で、コンテナ苗木の生産における実際と課題等について話を聞いた。

午後は移動して、渋川市小野子の裸岩国有林において、長江恭博群馬森林管理署長を講師に、スギ（実生苗）とスギ（コンテナ苗）を植栽した現地で実際に見比べながら「コンテナ苗木」の造林作業の実際と課題等々について説明を受けた。

現地においては、植栽した苗齢の差はあるが、成長量や活着率においてはほとんど変化は見られなかった。

この春、枯損したコンテナ苗の根茎を観察すると、写真のように主根・側根の生長が悪く、特に主根の成長がほとんど見られなかった。



コンテナ苗生産者
岩田好雄方育苗施設



裸岩国有林292林班ろ1小班



▽▽協会の主な動き▽▽

- 5月14日 前営懇研修会（前橋市）
- 5月20日 磐城林業協同組合第17回通常総会（いわき市）
- 5月21日 全造生協第16回定期総会（東京都）
- 5月22日 甘楽林業協業組合通常総会（下仁田町）
- 5月24日 第9回群馬県植樹祭（嬬恋村）
- 5月25日 大間々林業協同組合第33回通常総会（みどり市）
- 沼田森林業協同組合第42回通常総会（沼田市）
- 5月26日 前林協第1回理事会（前橋市）
- 5月29日 奥久慈林業協同組合第16回通常総会（棚倉町）
- 6月4日 群馬県林業技士会通常総会（前橋市）
- 6月9日 前林協第16回通常総会（前橋市）
- 6月21日 CPD認定群馬県林業技士会研修会（渋川市）
- 6月22日 社会保険事務講習会（伊勢崎市）
- 6月25日 奥久慈林業協同組合安全大会（棚倉町）
- 7月1日 いしかわ林業協同組合・有限会社大須賀林業・白栄林業企業組合合同安全衛生大会（石川町）
- 7月7日 磐城林業協同組合安全大会（いわき市）

▽▽今後の予定▽▽

- 9月11日 前林協臨時理事会（前橋市）
- 10月15日 全造生協理事会（東京都）
- 10月未定 前林協第2回理事会
- 11月9日 森林分野CPD研修会（那須町）

◆◆人事異動◆◆

代表者の変更がありました。

奥久慈林業協同組合 理事長 菊地 正人
 南蒲原森林組合 代表理事組合長 名古屋 金市

◆◆編集後記◆◆

梅雨明け待ち遠し

毎日毎日が曇天か雨天の日が続き、空気がジメジメして、心地よいものではありません。このいやな梅雨が明けると夏本番を迎えます。

山での下刈り作業も本格的に始まりますが、蜂の行動も活発になり、蜂刺されに注意が必要となります。刺される場所によって重篤となることもありま

すので、あらかじめ緊急連絡網を作成し、作業者全員周知するとともに、病院の所在地などを把握しておきましょう。

また、被災者の早期救助のため、緊急時の連絡方法や被災者の移送の仕方など模擬訓練を実施しましょう。

